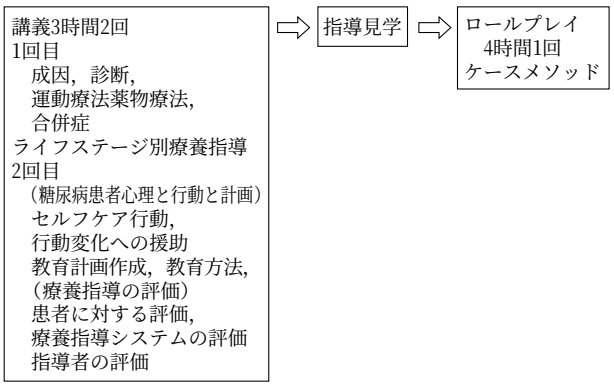
栄養指導システムの確立に向けて

徳島大学病院栄養管理室　管理栄養士　古田　結花

徳島県は，平成5年以来，糖尿病死亡率全国1位が続いているという憂慮すべき状態にあり，糖尿病対策は急を要する課題となっています．そこで平成16年より徳島県医師会，徳島大学，徳島県健康増進課，徳島県教育委員会，（社）徳島県栄養士会が一同に会し糖尿病対策班を組織し，糖尿病対策を重点的に行っていくことになりました．この班会議の中で，「糖尿病の予防や血糖コントロールには管理栄養士による栄養相談・指導が不可欠である．しかし，開業医で管理栄養士を置いているところは非常に少なく十分な栄養指導ができていない」，また「管理栄養士が勤務していても栄養指導まで十分に行えない施設もあり，療養指導が必要な人に十分に対応できていない」現状であることが認識されました．その対策として，栄養指導が必要な人に即指導を受けてもらえるシステムの基盤を構築するとともに，質の高い栄養指導が実施できる管理栄養士を育成し，紹介できる流れを作りました．さらに，地域医療の中核としての自覚を持って，徳島大学病院栄養管理室としても協力し動き出しました．

また，（社）徳島県栄養士会では，栄養ケアステーション事業を立ち上げ，県内の需要にこたえるために糖尿病患者栄養指導システムを導入し稼働することといたしました．管理栄養士不在の事業所への紹介，すでに管理栄養士がいるが栄養指導を行っていない施設への実施サポート，栄養ケアステーション登録栄養士のスキルアップ等を事業内容としました．開業医への周知は県医師会に広報をお願いし，昨年の11月には，糖尿病緊急事態宣言を発表し運動と食事管理の重要性を広く県民にアピールしています．2月10日現在担当栄養士の研修も終了し，開業医の先生からの栄養士派遣の打診もあり，着実に少しずつ動き始めています．いつでも身近なところに管理栄養士がいて栄養指導を受けることができる体制が，糖尿病の予防と良好な血糖コントロールに役だちCDEJの仲間と共に患者様にタイムリーな情報提供ができ，開業医の先生方には糖尿病コントロールにおける栄養指導は管理栄養士が担当するという意識付けにもなると思います．また，地域住民の方々にも糖尿病の予防は食事と運動が大切であるという認識が作られると確信しています．参考までにカリキュラムの概要とシステムの流れを示します．

カリキュラム概要



栄養指導システムのイメージ
（徳島県栄養士会栄養ケアステーション事業）

